

作成日 2021/1/8
改訂日 2025/7/25

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称
会社名
住所
問い合わせ先
電話番号
メールアドレス
推奨用途及び使用上の制限

放射能標準溶液
公益社団法人日本アイソトープ協会
神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-20
アイソトープ部 放射線源課
044-589-5002
info-sengen@jrias.or.jp
試験研究用
2. 危険有害性の要約

GHS分類 物理化学的危険性
健康に対する有害性
環境に対する有害性

区分に該当しない
区分に該当しない
水生環境有害性 短期(急性)
水生環境有害性 長期(慢性)

区分3
区分に該当しない

GHSラベル要素
絵表示又はシンボル

なし

注意喚起語
危険有害性情報
注意書き

注意喚起語なし
H402: 水生生物に有害
【安全対策】
・環境への放出を避けること。
【応急措置】
非該当
【保管】
非該当
【廃棄】
・専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
3. 組成及び成分情報

化学物質

単一製品・混合物の区分

混合物

化学名	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号	濃度又は濃度範囲 (%)
塩化水素	(1)-215	7647-01-0	0.4
水	-	7732-18-5	99.6
4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師の診察を受けること。
直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を速やかに多量の水/適切な薬剤で洗うこと。皮膚刺激が続く場合は医師の診察/手当を受けること。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は医師の診察/手当を受けること。
口をすすぐ。直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
5. 火災時の措置

消火剤
使ってはならない消火剤
特有の危険有害性

現場状況と周囲の環境に適した消火剤を使うこと。
データなし
火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガス・蒸気を発生するおそれがある。

特有の消火方法
消火を行う者の保護

データなし
適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。風上に留まり、低地から離れる。漏洩した場所を隔離し、関係者以外の立入りを禁止する。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。汚染した排水が適切に処理されずに環境へ排出されないように注意する。

封じ込め及び浄化方法・機材

漏洩した液はウェス等に吸着させて空容器に回収する。汚染された物体および場所をよく洗浄する。

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策

適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。局所排気装置を使用する。

保管 安全取扱い注意事項
適切な保管条件
安全な容器包装材料

塩基性の製品との接触を避ける。
直射日光を避け、容器を密閉して涼しい場所で保管すること。
ガラス、ポリエチレン

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

データなし

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）

日本産業衛生学会
ACGIH

2ppm 3.0mg/m³ (最大許容濃度) (2014 年)
TLV-STEL ; 2ppm(2014 年)

設備対策

取扱いについては、できるだけ密封された装置、機器又は局所排気装置を使用する。

保護具 呼吸器の保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体の保護具

保護マスク
保護手袋
側板付き保護メガネ
長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

液体

色

無色

臭い

データなし

融点／凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲

データなし

可燃性

データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

データなし

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

強酸性

動粘性率

データなし

溶解度

水：自由に混合

n-オクタノール／水分配係数(log値)

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び／又は相対密度

1.004

相対ガス密度

データなし

粒子特性

データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

推奨保管及び取扱条件においては安定と考えられる。

反応性

データなし

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

高温と直射日光

混触危険物質

塩基類

危険有害な分解生成物

塩化水素ガス

11. 有害性情報

急性毒性	区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷・刺激性	区分に該当しない
呼吸器感受性又は皮膚感受性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分に該当しない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分に該当しない
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分に該当しない
誤えん有害性	分類できない

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	区分3 NITEのGHS分類に基づく
水生環境慢性有害性	区分に該当しない
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中への移動性	データなし
他の有害影響	オゾン層への有害データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	RI法に基づき適正に処理すること。関連法規に従うこと。
-------	-----------------------------

汚染容器及び包装	RI法に基づき適正に処理すること。関連法規に従うこと。
----------	-----------------------------

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報	RI法に基づくこと。 規制されていない。
	国連番号	—
	国連品名	—
	国連分類	—
	容器等級	—
	海洋汚染物質	非該当
	航空規制情報	規制されていない。
	国連番号	—
	国連品名	—
	国連分類	—
	容器等級	—
国内規制	陸上規制情報	規制されていない。
	海上規制情報	規制されていない。
	国連番号	—
	品名	—
	クラス	—
	容器等級	—
	海洋汚染物質	非該当
	航空規制情報	規制されていない。
	国連番号	—
	品名	—
	クラス	—
	容器等級	—

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険有害物 塩化水素 名称等を通知すべき危険有害物 塩化水素

化学物質排出化学管理促進法 (PRTR 法)

消防法

非該当

16. その他の情報**引用文献・参考ホームページ等**

経済産業省 GHS混合物分類判定システム

https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/int/ghs_auto_classification_tool_ver4.html

NITE: 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS関連情報

https://www.nite.go.jp/chem/ghs/ghs_index.html厚生労働省 職場のあんぜんサイト GHS対応モデルラベル
モデルSDS情報https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx

等

免責事項

この安全データシートの記載内容は通常の実用を目的としたものであり、特殊な取扱いをする場合にはその取扱い環境に適した安全対策を実施の上ご使用ください。必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意してください。また、本製品は放射性物質 (RI) を含みますが、本データシートはRIとしての情報は記載しておりませんので、「放射性同位元素等の規制に関する法律」の定めに従い取扱いして下さい。含有量、物理・化学的性質、危険有害性等の記載内容は安全な取扱いを目的とした情報提供であり、いかなる保証をするものではありません。